

ジオパーク認定 めざし情報発信

鳥海山・飛鳥ジオパーク構想、月山ジオパークの両推進協議会の設立総会が24日、秋田県にかほ市役所と庄内町の響ホールでそれぞれ開かれた。ともに2016年8月の日本ジオパーク認定を目指し、ガイド養成講座の開催やジオサイト(見どころ)の情報発信に取り組んでいくことなどを決めた。

鳥海山・飛鳥の協議会は、設する予定。

酒田市、遊佐町、秋田県の月山の協議会は鶴岡、西にかほ市と由利本荘市の4市町に加え、J.A.漁協、市町村と、国や県、観光協商工会、青年会議所などで、会、商工会など35団体で構成。会長は横山忠長にかほ市長が務め、事務局を同市役所に置く。15年度予算は3400万円で、モニタ2009万円。ジオパークツアーを開催するほか、認定に向けた活動を円滑に今年中にパンフレットをつくり観光施設などに置く。し、ポスターを掲示するなホームページは4月中旬に開として周知活動を行うこと

2推進協が発足

鳥海山・飛鳥

月山



もに、月山周辺のジオサイ互いがライバルとして高めトの調査と検証を進める。合つとともに、協力できる総会後、「鳥海山・飛鳥」ところは協力したい」と語の会長に就いた横山市長は、ジオパークは、地球や大れば滞在期間も長くなる。地を意味する「ジオ」と「パ今後、他のジオパークとのーク」(公園)を組み合わ連携も視野に入れる」と話せた言葉で、地質学的に貴任した小川町長は「日本ジ公園。保護だけでなく教育ジオパーク認定を目指す県内や観光への活用を目的にしの鳥海山・飛鳥、蔵王などている。

鳥海山・飛鳥ジオパーク構想①、月山ジオパーク②の両推進協議会が発足し、首長らが互いに日本ジオパーク認定に向けて協力して事業を進めていくことを確認した